

卒業研究

講師名	佐々木 直	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、卒業研究に向けた調査・試験等について指導している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・肉畜	必修	2	通年	120	4
使用教科書・副教材	各自参考図書、参考文献等					
授業の目的	課題設定、計画立案、実施、取りまとめ、考察等の一連の取組を通じて、課題解決能力やプレゼンテーション能力を養う。					
授業の到達目標	計画的に課題に取り組み、適切なデータ処理や取りまとめができるようになる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時 間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	卒業研究実施計画の作成・発表	実施計画の作成・進行管理 実施計画の発表(畜産学科内プレゼンテーション)	16	演習 発表	プレゼン資料
5月	調査・試験の実施	卒業研究計画の進行管理	12	演習	
6月	"	卒業研究計画の進行管理 卒業研究中間実績検討会	4	演習	
7月	"	卒業研究計画の進行管理	8	演習	
8月	"	卒業研究計画の進行管理	8	演習	
9月	"	卒業研究計画の進行管理 データ整理及び中間実績検討会プレゼン資料の作成	12	演習	
10月	"	卒業研究計画の進行管理 卒業研究中間実績検討会	12	演習	プレゼン資料
12月	卒業研究成果発表会(畜産学科)・全校発表会	データ処理・解析、研究成果発表会資料及びプレゼン準備、研究成果の学科内・全校発表会(パワーポイントによるプレゼンテーション)	40	演習 発表 会	発表会資料
1月	卒業研究まとめ	卒業研究集録作成、卒業研究抄録作成	8	演習	集録、抄録
		合計	120	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

論文60%(目的設定と成績、理論構成と表現、内容、発表態度等)、平常点40%(調査・検査、データ整理、文献考証等の取組状況、出席状況等)

履修に当たっての留意点等

学校が所有する施設、機械、家畜、飼料以外の物で、自己の研究材料として必要なものについては各自が自前で用意するものとする。データの記録用紙や野帳を用意して取り組むこと。成績とりまとめやデータ処理・解析にパソコンを活用するほか、各自必要資料を収集・持参すること。